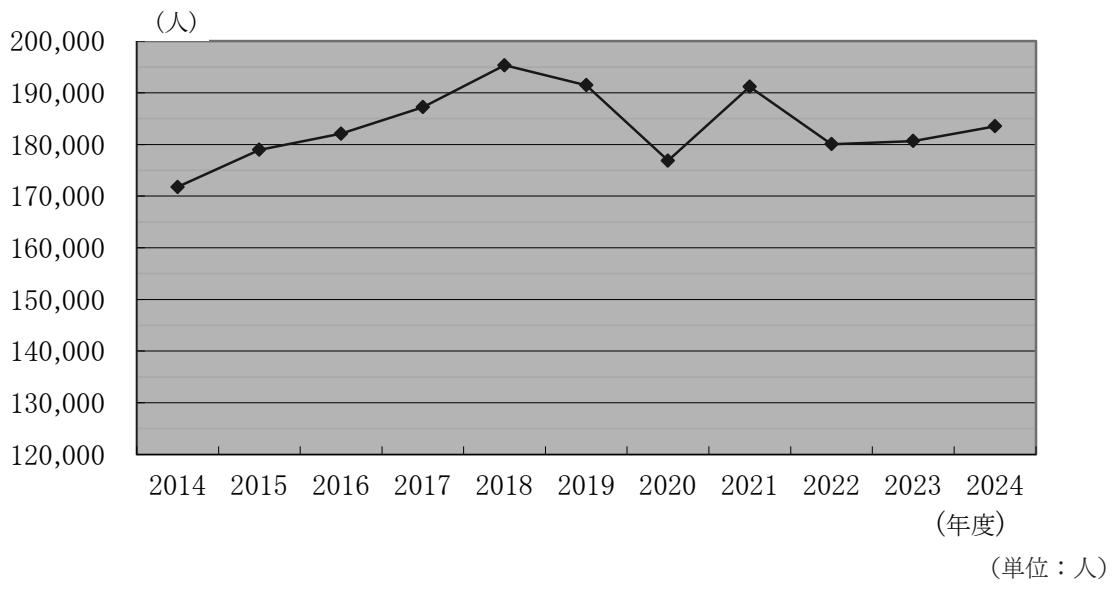


## II - 2

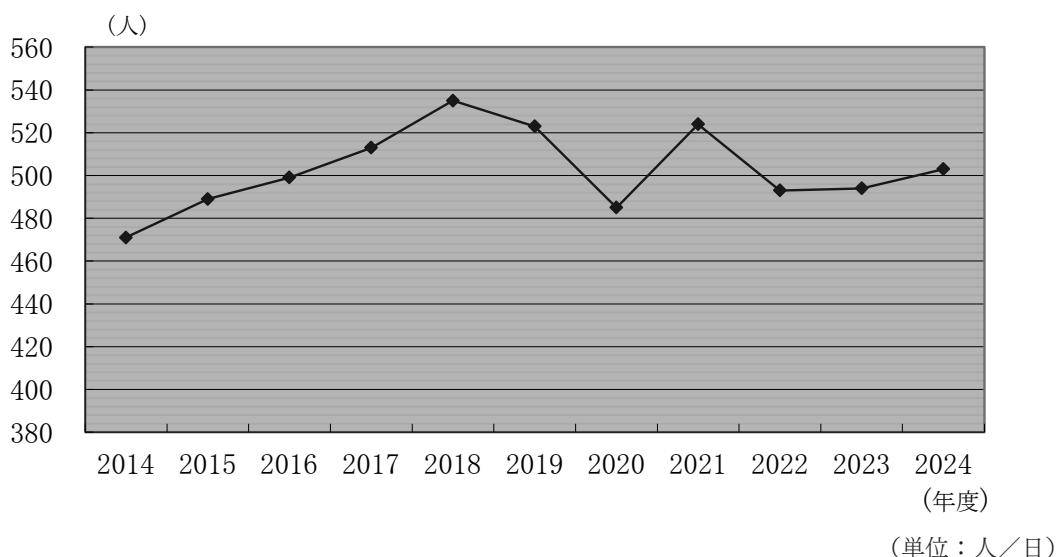
### 2. 入院診療実績

在院患者延数は1999年度以降一時130,000人台で推移してきたが、平均在院日数の短縮化に伴い、2005年度以降は128,000人台で推移していた。2008年度・2009年度の増床により17%以上増加し、2010年度以降は毎年微増し、2018年度には190,000人台に突入した。2020年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり170,000人台まで低下した。2021年度は190,000人台に回復したが、2022年度以降は病床制限の影響もあり、再び減少に転じた。

#### ①在院患者延数

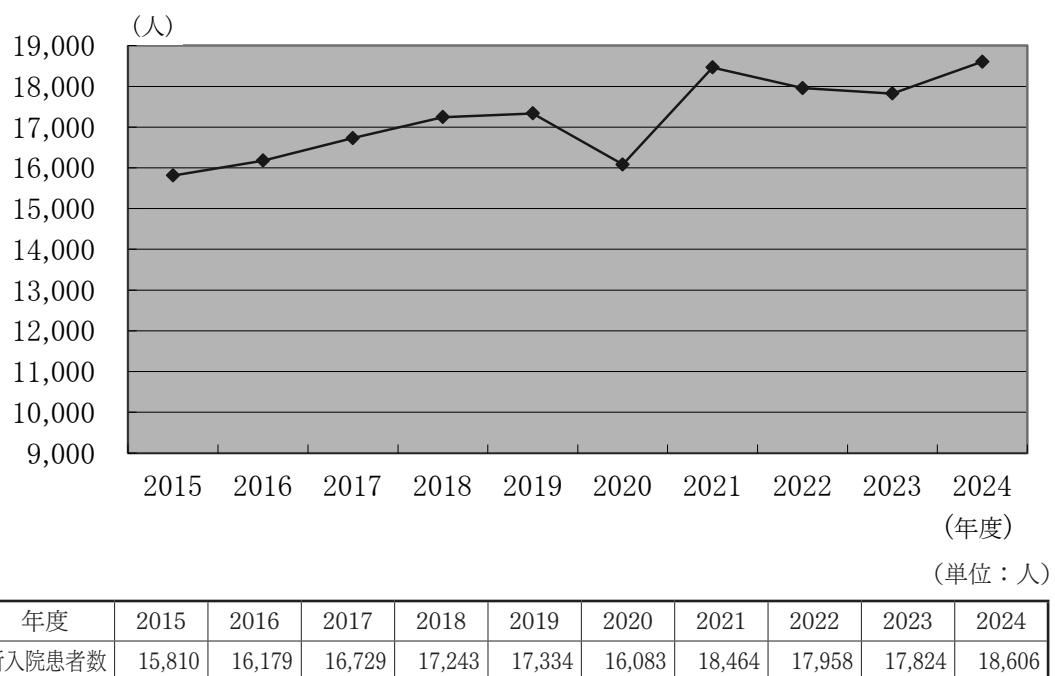


#### ②1日平均在院患者数

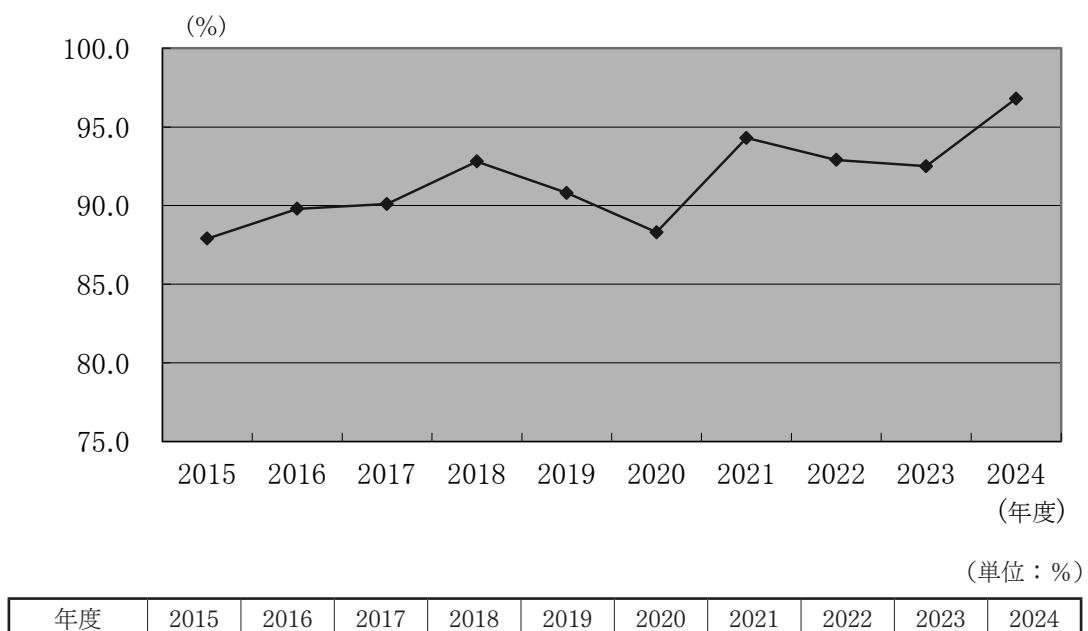


新入院患者数は増床、平均在院日数の短縮化等により毎年度増加している。病床稼働率については、2008年度に産科及び小児科病棟が開棟したものの、本格稼動には至っていないこと等により2009年度には一時81.3%まで低迷した。2010年度以降は徐々に回復傾向にあり、2018年度には92%台に達したが、2020年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり低下に転じた。2021年度は大幅に増加したものの、2022年度以降は病床制限の影響もあり低下傾向で推移していたが、2024年度は新入院患者数、病床稼働率ともに過去最高水準となった。

#### ③新入院患者数

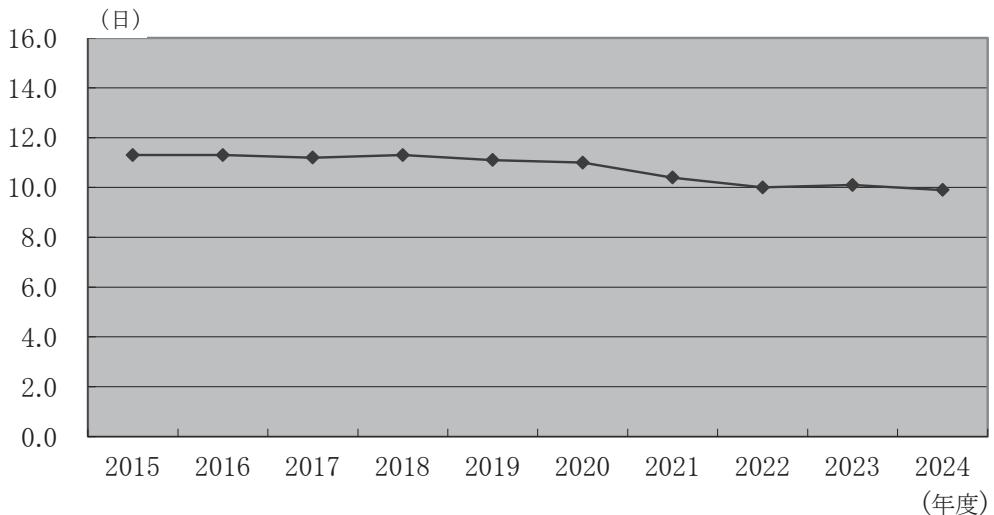


#### ④病床稼働率



平均在院日数については、クリニカルパスの推進等の努力の結果、11日台で推移してきた。2021年度以降は10日台となり、2024年度はさらに短く、9日台となった。

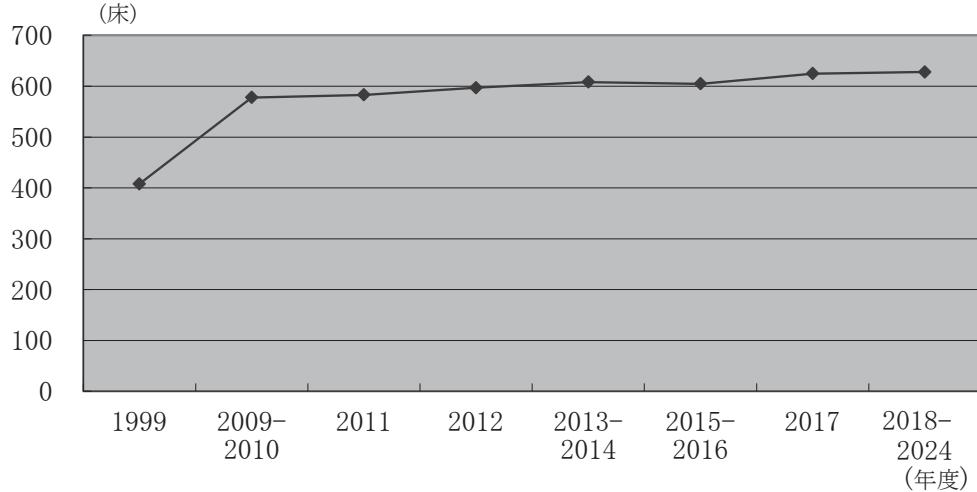
#### ⑤平均在院日数



(単位：人)

| 年度     | 2015 | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 | 2021 | 2022 | 2023 | 2024 |
|--------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 平均在院日数 | 11.3 | 11.3 | 11.2 | 11.3 | 11.1 | 11.0 | 10.4 | 10.0 | 10.1 | 9.9  |

#### ⑥病床数



(単位：床)

| 年度  | 1999 | 2009-2010 | 2011 | 2012 | 2013-2014 | 2015-2016 | 2017 | 2018-2024 |
|-----|------|-----------|------|------|-----------|-----------|------|-----------|
| 病床数 | 408  | 578       | 583  | 597  | 608       | 605       | 625  | 628       |